

# 水平社

## 水平社宣言 「つながりの力～熱と光のメッセージへ～」

### 1、目標

- 厳しい部落差別の中で、すべての人間の解放を高らかにうたい上げた人間としての誇りのある生き方に共感させ、自分自身を見つめ、周りを見つめるところから、積極的に差別解消に立ち上がる意欲と実践力を育てる。
- 人間として生命の輝く生き方とは、どんな生き方をいうか、生きることの意味を求め、自らを解放する力を育てる。
- 水平社宣言は人権のことを考えるきっかけであり、「社会モデル」ひいては「人権モデル」の考えであることを理解する。

### 2、準備物

- ・水平社宣言原文プリント
- ・水平社宣言現代文プリント
- ・ワークシート
- ・ポストイットカード
- ・書き出して発表させたい場合は短冊カード、マーカー
- ・各文への挙手による投票の形をとる場合は、現代文の模造紙への拡大コピー など

### 3、所要時間

全1回

### 4、キーワード

当事者の立ちあがり 人権モデルの先駆者たち

### 5、<指導計画>

	学習内容(○)と生徒の活動(・)	教員の学習支援(発言「 」)	留意点(◎)
導入 5分	○水平社宣言を読んでみよう ・原文をみる  ・現代文をみる	「今日は水平社宣言を読みます」 原文を配布する 原文を音読する 現代語訳を配布する	◎社会科などで水平社宣言を既習の場合は、原文のみで学習してもよい ◎現代文は「部落問題学習の授業ネタ2」を参照するとよい
展開 35分	○現代語訳を読み、①②③について、それぞれの線を引く ・線を引き、①と③はポストイットカードに理由も書き、引いた線の横に貼る	ワークシートを配布する 板書 ①いいと思ったところ・・・直線 ②言葉の意味がわからない・・・波線 ③納得がいけない・・・二重線	◎色別の付箋に記入し、模造紙などに貼ってもよい

	<p>・意味が分からない言葉を発表し説明を聞く</p> <p>・互いに感銘を受けた箇所とその理由を班の中で交流する</p>	<p>「黒板に書いた指示に従って、現代文の横にそれぞれ線を引いてください。①と③に関してはポストイットカードの理由もメモして線の横に貼ってください」</p> <p>○作業が終わった様子を見届けて</p> <p>「まず、②意味の分からなかった言葉を挙げてください」</p> <p>○言葉の意味がわからない箇所について説明する</p> <p>「では、自分がどこにどんな線を引いたのか、なぜいいと思ったか、なぜ納得いかなかったか理由も含めて交流しましょう」</p>	<p>◎立ち上がったのは当事者であることに気付かせる</p> <p>◎人間を尊重することによって差別からの解放をめざしている点に気付かせる</p>
<p>ま と め 10 分</p>	<p>○ここがおススメという箇所を理由とともに全体で発表する</p>	<p>「『ここがおススメ』『こここそすごい』『ここにグッときた』という部分を、発表してください」</p> <p>○発表で出てきた部分を板書する。または短冊カードに書かせて貼りださせる</p> <p>○生徒からもし出なかった場合、教員の推しとして、「当事者自身の立ち上がりの必然性」「人間を尊敬する事によって自ら解放せんとする者の集団行動」「(幾多の差別の中にあっても)なほ誇り得る人間の血は涸れずにあった」「吾々がエタである事を誇り得る時が来たのだ」「人の世に熱あれ人間に光あれ」は必ず押さえる</p> <p>○現代文を模造紙に拡大し、それぞれの文に挙手で投票する方法でもよいが、理由を大切に深めること</p>	<p>◎当たり前が奪われることや、排除されることは不合理であることを知る</p> <p>◎黙らなくてよい、抗う方法はあることを見出す</p> <p>◎発展学習として「私の水平社宣言」を書いてもよい</p>

<配布資料・ワークシート>